



第15号

2010. 3.

青少年赤十字

賛助 ひろしま

青少年赤十字賛助奉仕団信条

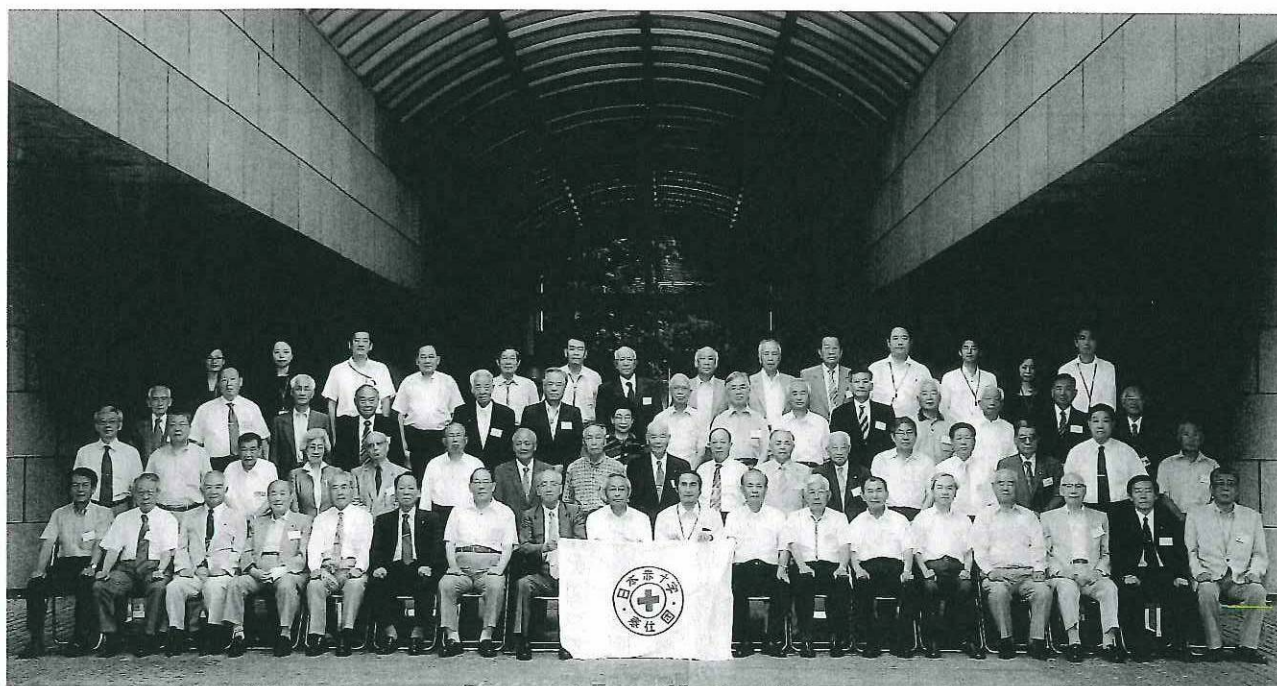
1. 青少年赤十字の充実発展に協力奉仕する。
1. 赤十字思想の普及啓発に努め、平和な社会の実現に寄与する。
1. 志を同じくする人々と手を取りあい、研鑽に努める。

発行 広島県青少年赤十字賛助奉仕団

〒730-0052 広島市中区千田町2-5-64

事務局 日本赤十字社広島県支部

TEL (082) 545-5011



平成二十一年度青少年 赤十字全国賛助奉仕団総会（報告）



全国副会長 塚本 晃史

平成二十一年度青少年赤十字全国賛助奉仕団総会が七月九日・十日、日赤本社において開催された。全国から四十七都道府県委員長、副委員長、日赤本社関係者六十余名が参加して開催された。その概要を報告する。

一、開会式

① 山口正義会長挨拶

② 日赤本社組織推進部長

一、活動強化要綱の発表

二、もっとクロス赤十字

三、JRC加盟校の増加

二、議事

一、二十年度事業、会計、監査報告

二、二十一年度事業計画、予算

三、いとすぎ十五号

三、第五ブロック会

一、二十一年度ブロック会

七月八・九日（徳島）

二、賛助奉仕団今後の活動

○地域奉仕団等他の奉仕団との連携

○加盟促進支援

○支部・教育委員会との連携

○高齢化への対応

四、全体会

一、ブロック会報告

二、いとすぎ十五号原稿割当て

三、全体討議

五、閉会式

「平成二十一年度中国・四国ブロック賛助奉仕団
連絡会・協議会・研修会」に参加して

賛助奉仕団員

河戸 靖子

初秋の風が吹き渡る中国山脈を越えて山口市に入ったのは平成二十一年八月二十五日でした。広島県からの参加者は、全国副会長塚本晃史先生、広島県委員長日高敬司先生、同副委員長野田崇先生、そして私の四名でした。

山口県支部委員長先村健二先生はじめ副委員長様、事務局長様の暖かい歓迎を受けて、二日間の日程が始まりました。まず、会に先立って講演がありました。演題「松下村塾の教育―それを現在の教育にどう生かすか」と題して、萩松明会会長弘長純忠先生から映像を用いてお話を伺いました。今年のNHK大河ドラマ「龍馬伝」に登場する吉田松陰、高杉晋作や久坂玄瑞などがお話の中に出て来るとともに現代の教育を考えさせる興味深い講演でした。特に、松

下村塾の教育理念は孟子の性善説を基とし、個性を大切に育み、藩、親子、家庭、友を信頼し合ってこそその教育であり、誠心誠意、真心を以て礼儀を尊ぶことが第一義とし、集団教育では形ではなく、心から入り行動を伴うべきと話されました。現代の教育、青少年赤十字活動とも合致するものと感じ入りました。

続いて協議にはいりました。

各県から活動状況や現状報告がだされました。

鳥取県提案

「団員の学校訪問、指導者協議会との連携について」

（鳥根県）年一回賛助奉仕団と協議会の合同会議を開き、情報交換や連携強化を図っている。指導者協議会に委員長が顧問として参画している。

（岡山県）「団員の高齢化、指導者協議会との連携不足、委員長が地域協議会に参加し、青少年赤十字活動の説明、加盟への側面的支援を依頼している」

（広島県）加盟校が急増しているので賛助奉仕団が学校訪問して活動方法を支援しているのは大変効果がある。

（徳島県）青少年赤十字活動の普及・拡大を支援することが団の意義と認識している。地域奉仕団と連携し、学校訪問、行事に関わり、加盟活動への支援をしている。

（香川県）指導者協議会役員会に賛助奉仕団役員が参加し、情報交換を行い、研究会・登録式などへ参加し必要とされたら支援する。

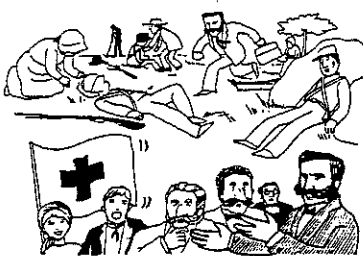
（愛媛県）男女奉仕団員百十名の存在を大切に、青少年赤十字県大会へ参加し、連携を図っている。

（高知県）学校現場は多忙とのことだが校長配置にもよるので、訪問は可能である。指導者協議会とは合同で会議を開催している。

（山口県）賛助奉仕団員の入団者は少ないが、加盟促進の側面的働きかけは行っているが、核となる教師がいないと難しい。

など七つの協議題について協議がなされました。それらは前述のものかなり重複していますので割愛します。特に、保育所・幼稚園から加盟を促進するには保護者の認識・協力が不可欠である。また、青少年赤十字の食わず嫌いをなくすため、参考になる実例を各校に知らせる。そのため実践広報を作成し配布するなど青少年赤十字教材と活用例を紹介する。など活発に話し合われました。

第二日目は、山口県支部の心配りで防府市にある「旧毛利家の毛利博物館・庭園」を拝観させていただきました。



次回開催地徳島県での再会を約して帰路に就きました。



広島市民賞を受賞して

広島市立国泰寺中学校

校長 濱村 龍彦

○はじめに

国泰寺中学校生徒会が、平成二十一年度広島市民賞を受賞致しました。この賞は、広島市民の模範となる善行により、本市の発展に寄与したことが認められた個人、団体に与えられる賞です。本校生徒会が長年取り組んできた青少年赤十字に灯を当てていただき、大変嬉しく思っています。

本校は、戦後間もない昭和二十四年に創設された伝統ある中学校です。旧広島県立第一中学校の伝統を受け継ぎ、新たに校訓「実行の人」を定め、国泰寺中学校教育の柱が立てられました。本校の特徴として特筆すべきことは、昭和二十七年に青少年赤十字に全校加盟して以来、本校の教育活動の根幹に青少年赤十字の理念を生かしていることです。「人道」の精神に基づいて国際的な視野に立って平和愛好の生徒の育成に半世紀以上前から取り組み、今日まで至っております。

○新学習指導要領と国泰寺教育

新学習指導要領は「生きる力」を育むことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と、それらを活用して課題を解決

するための思考力・判断力・表現力等をはぐくむことが強く求められています。そのためには、授業を、課題解決のために「課題に気づき、調べる」「考えを出し合う、自分の考えを持つ」「発表や表現をする」といった展開に改善する必要があります。



一方、青少年赤十字においては、「気づき・考え・実行する」という態度目標があり、この態度目標が学校教育活動の身近な課題の解決に

大きな力になっています。「気づき・考え・実行する」というプロセスは、新学習指導要領の要でもある「思考力・判断力・表現力」の育成に重要な授業改善と合致するものです。

本校は平成十九年度と二十年度に青少年赤十字全国モデル校に指定され、近年になく活動が活発化しております。昨年、第五ブロック青少年赤十字指導者協議会長会議が本校で開催されるなど、全国からのモデル校視察も相次いでおり、青少年赤十字を取り入れた国泰寺教育に高い評価をいただいているところです。

○創意工夫を生かした特色ある活動

本校では伝統的に、生徒会活動を中心に青少年赤十字の活動を展開してきました。生徒会執行部と生徒会担当教員が、一体となってさまざまな創意工夫を凝らし、それが高い教育効果を挙げているところであります。

その一つとして生徒総会の工夫があります。まずクラスごとに小グループでニーズの発見をするところから始まり、ディスカッションを積み重ね、総会でプレゼンテーションを行い、年間活動テーマを決定します。生徒一人ひとりの気づきを大切に、それをもとに話し合い、考えを出し合い、全校生徒の活動へと発展させていく方法をとっています。これは、まさに「気づき・考え・実行する」という態度目標の実践の場と言えます。

もう一つは、本校が独自に活用している「V Sカード」です。これも、活動活性化のための

創意工夫として大きな成果を挙げているものの一つだと思います。掲示板を使ってボランティアサービスの呼びかけをして、それに参加した生徒は、各自が持っている「V Sカード」を提示し、執行部の生徒がシールを貼ります。そのシールが二十枚たまると、生徒会長が表彰します。この取り組みも、個人の思いを全体の活動に広げていく大きな工夫の一つです。

○青少年赤十字の理念を行動化する教育を

国際情勢がめまぐるしく変動する今日、ジュネーブ条約締結国として責任を担うわが国において、青少年赤十字の理念を行動化する教育への期待はますます大きくなっていくものと思われまします。その中で本校は、半世紀以上前から、校訓「実行の人」のもと、青少年赤十字活動を展開し、その理念を行動化する教育を実践してまいりました。

今回の広島市民賞の受賞を期に、新学習指導要領の円滑な実施に向けて、広島市教育委員会、日本赤十字社広島県支部を始めとする関係機関との連携を一層密にし、国泰寺教育のさらなる充実に努めてまいりたいと思います。



スタディーセンターのプログラム展開について



野田 崇

スタディーセンターに参加する生徒たちは、経験することによって学び、学ぶことによって経験を論理的に整理することが出来るようになり、知識・経験・知恵が自分のものになります。「生徒たちの欲望と必要に対して応えられるスタッフでありたい。」との思いを込めてプログラムを展開しています。

プログラムは「気づきを待つ」展開になりますから、エンカウンター的要素・カウンセリング的要素・体験学習要素を持つことになります。プログラムに込められているねらいを考えることを「仕掛けを見ぬけ」とオリエンテーションしていますから、HRでは「気づきの視点の多様性への気づきを待ち」ながら「仕掛け」を考えあい・それから解説します。

解説されることを自分のものとしながら、自ら成長するためには経験を自分の論理にする大切さに気づき行動に生かそうとし始めます。

SC（スタディーセンター）・TIC（トレーニングセンター）が目的とする「気づき・考え・実行する」態度目標を、自らのものとし始めているのです。気づきは、質的にも量的にも深まりを持ち、行動に移せるようになって本物になる

ります。

そして、このことによってリーダー・人としての資質を向上させ、人道の実現を図る力量を身に付けようとするのです。

「気づきを待つ」をSCの基本姿勢とするスタッフの持つ雰囲気は、参加者が「受容と寛容」「TCの終了時の意識・雰囲気」によって、相互に影響を与えられながら「ここなら、何でも話せる」という心理状態になります。このことは時によって、「心の懊悩を話しても受け入れてもらえる」とカミングアウトします。一人をきっかけに「家族のこと・人間関係のこと・苛めのこと・差別のこと、等等」日ごろから他人に話せなくて、もんもんとしている悩みや苦しみを、吐露する場がHRで発現します。このことによって、人間関係と理解が深まりSCがより印象的になり、忘れがたいものになります。エンカウンターの要素・カウンセリング的要素をプログラムの中心に据えていることは、参加者のカミングアウト・自己変革の場面に立ち会うことを想定しています。

五泊六日のSCが、参加者の生き方に大きな影響を与えていることが想定されるからこそ、スタッフのスタンスは、生徒の期待に本気でこたえようと自覚し覚悟をしています。

本校の海外交流について



広島新庄中学高等学校

校長 日高 敬司

一 韓国との交流

戦前旧制中学が朝鮮半島に少なかったため、本校の前身の旧制新庄中学へ朝鮮半島の人々が学びに来ていました。その卒業生は韓国でいわゆる出世した人が沢山出ました。その人たちが懐かしく思い同窓会が何回かもたれ、本校からも理事長以下関係者が出席しました。その同窓生の呼びかけで、韓国の学校と本校と提携してはという話を持ち上がりました。

同窓生の世話で釜山市にある公立釜山鎮女子商業高校と平成三年に協定を結び、相互の交流が始まりました。夏休み中の三泊四日で、一日は本校の寮に宿泊し、残りは相互の家庭にホームステイをしました。向こうが女子高校なのでこちらも女子の生徒との交流をいたしました。幸い当該校では第二外国語で日本語を学んでいることもあり、希望者も多く特に日本語が良くてできる生徒が選抜されてきていました。

しかし、第十七回目の平成二十年の竹島問題で中央政府から「日本との交流は禁止」という通達により、前日に断りのファックスが届くというようなことで、それ以来中断しています。

二 バングラディッシュ国

本校はバングラディッシュ国の小学校に資金援助をしています。ことのきっかけは地元大朝町出身のルミコ・ラーマンさんとの出会いからです。ルミコさんのご主人は博士号を持つ医師で、広島に滞在したことのある人です。ラーマンさんから「教育を充実させることが最も重要」という声に応え、平成二年に募金を開始し、保護者・生徒などから現在まで約四百万円弱が集まり、それを寄付しています。

平成九年にコナバリ市ガジブア地区に「ボラボ・アイデアル小学校」を設立しました。毎年三十万円を目標に集めています。このお金を持って毎年三月、中学・高校の生徒会執行部の生徒、引率教員、本校卒業生で看護師のボランティアの方、および自費でも生きたいという生徒が参加しています。驚くことにこの金額で教師の給与や運営費の一年分が賄えるとのことでした。

この訪問を通して生徒は余りにも自分たちが恵まれていることを知る良き機会になっていきます。

また、このこと知った現地の大使館やNGOの方が本校の生徒一行と面会し、いろいろ話をしていた聞いています。

三 今年度の取り組み

日本では英語を随分学習しています。本校ではスピーチコンテストにも応募し毎年県大会で三位くらいまで入賞したり、大学のスピーチコ

ンテストで毎年入賞するところまでできました。しかし、特定の生徒の語学力はついても一般生徒には波及しないことを痛感しておりました。何かチャンスがあれば海外交流を積極的に行おうと考えていたところ、今年度は次々と話が舞い込んできました。

1 アメリカ大学生の教育実習

七月初旬、アメリカの大学生で英語を母国語としない人への英語教授法の授業を、アメリカの大学生二名が先生一名のもとで一週間本校の生徒を対象に実習しました。英会話や英作文の授業や一泊二日の「英語づけキャンプ合宿」に参加したりしました。

2 中国河北省の高校生の訪問

文部科学省「二十一世紀東アジア青少年交流計画」に則り、生徒二十名、引率者七名（中国政府の役人、河北省の役人、高校長二名、医師）が来広し、本校に一日滞在しました。幸い中国人は英語が堪能で生徒との意思疎通は英語で行いました。各クラスに分散して普段の授業と一緒に受けました。本校では中国の高校生一人に二名の付き添いを付けました。大変立派なホストを務めてくれました。授業は日本語がでないので退屈だったかも知れません。最後は、本校の郷土芸能部の神楽を見て、その夜は北広島町の一般家庭へホームステイしました。

3 オーストラリア女子高校生

ライオンズクラブの紹介で、十二月九日から一週間、高校二年二組に滞在しました。夜はライオンズクラブメンバーの家庭にホームステイし、スクールバスで通学しました。当該クラスの生徒は「生きた英語が学べた。現地のことがよく分かった」など大変好評でした。担任からは自分のクラスのみでもっと他のクラスとも交流ができれば良かったかと話しています。

4 台湾明台高級中学の訪問

（財）広島国際センターからの依頼で二月二日、一日だけの滞在。生徒二十名、先生二名（一人は日本語教師）、前回の中国河北省の訪問団と大体同じようなスケジュールを過ごしました。彼らはホテルマンや貿易の仕事に就くということで、日本語を学んでいる生徒もいました。しかし、共通語は英語でした。教室での座学のほか、体育の授業にも参加しました。授業後は、「神楽」の鑑賞と剣道部の練習を見て歓声を上げていました。台湾では放課後のクラブ活動はないし、剣道もないということでした。そして、その夜は北広島町芸北の民宿に宿泊し、翌日はスキー体験をしました。後日引率の先生からのメールで、台湾では雪が降らないので大変な感動だったと言っています。また本校の「神楽」と剣道は「これぞ日本」と感銘を受けたことです。

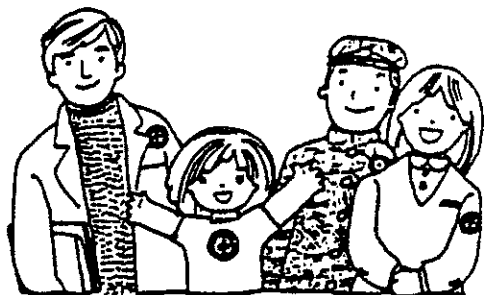
5 ニュージーランド交換留学

三年前ニュージーランドの高校生が十名余り日本に修学旅行に来た折に本校に一泊二日滞在しました。夜は本校の女子寮に宿泊しました。そのとき、引率された日本人の先生で向こうで日本語を教えている方との縁で、ダーフィールド高校との交換留学の話がまとまりました。今年度は、本校からは高校一年女子生徒、向こうの男子生徒一名が互いの家庭へホームステイし、授業料は相殺することとなりましたので、必要経費は旅費と小遣いと言うことになります。本年一月十三日に当該先生と生徒が来日し、先生は日本の実家で二十三日まで過ごし本校女子生徒を連れてニュージーランドに旅立ちました。生徒が旅立ってから、一週間後に、生徒の様子を見ることをかねて、本校から一名教師を派遣し協定を結んできました。来年度は向こうの校長が本校を訪問することです。この一連のニュージーランド滞在をインターネットホームページに掲載していますのでご覧下さい。ウェブサイトは (<http://www.shinjou.jp>) です。

なお、昨年六月にオーストラリアの高校生が二十名来ることになっていましたが、現地は新型インフルエンザが問題になっており、広島県はまだそれほど流行していない時でしたので、大変心配しました。その生徒たちは来日したのですが、前日に高熱を出したということで中止になる騒ぎがありました。

以上の取り組みは、学校としては大変時間と手をとることになるのですが、生徒のモチベーションを高めるには格好のチャンスとなりました。目の前に英語を使わなくてはならない状況があると何とかしてみようという気持ちになってくれているようです。また、バングラディッシュ国との交流は中高の生徒会が文化祭・体育祭・合唱祭などの諸行事や町内イベントでコーナーを設け当該国の民芸品を販売して寄付金に充当たりして、海外協力の精神を培っています。

年度が替わって四月には、オーストラリアから二十名の生徒が訪問する予定になっています。



会員だより

青少年赤十字賛助奉仕団の一員として

大本 昭



「えっ。赤十字は学校教育と関係があるんですか？」

これは青少年赤十字に加盟登録されたある小学校を訪問した時の教頭先生のお言葉である。当町内には県立高校一・中学校一・小学校四・保育園三園がある。このうち高校はすでにJRCの活動に実績を上げている。中学校と私立保育園は未加盟である。

一昨年の冬休みに資料を持って訪問し、活動についてお手伝いの必要があればお役に立ちたいとお話した時のことである。

せっかく青少年赤十字に加盟している学校、保育園の先生には赤十字について、青少年赤十字の活動について理解していただきたいと思いい機会あるごとにお話している。

さて、当地区は中山間地で、少子高齢化が一段と進んでいる。その中に在ってK保育園は青少年赤十字に加盟登録し、保育に活かされている。玄関の一番目につくところに青少年赤十字旗を常掲され、園児たちもやさしい心のしるしだよとJRCのワッペンを付けている。

社協で一人暮らし高齢者の集いをするときには園児との交流をプログラムに入れている。ワッペンを付けて参加してくれる。

近くの高校JRCクラブとの交流もあって、お兄ちゃんお姉ちゃんと慕っている。

園児に車いすの子がいる。園児たちはいつも彼のことを自然の姿で気遣っている様子についてホロリとする。

この子たちがやがて小学校に上がっても青少年赤十字の活動に出会い、活動できるよう町内各小学校に働きかけたいと思っている。

電気のはなし

門田 脩三

アルミ缶のリサイクルに協力している人は少なくないと思う。多くの人がリサイクルに参加しているのはなぜだろうか。

アルミニウムがよく「電気のはなし」といわれている。アルミニウムの新地金は、原料のボーキサイトからアルミナを抽出し、これを電気分解して製造される。このとき大量の電気が必要とする。三五〇mlアルミ缶一本分(約二十g)のアルミニウムの新地金を作るためには、四十Wの蛍光灯を十時間も点灯する電気が必要ともいわれている。

ところが、回収されたアルミ缶から再生地金をつくる時は、原料のボーキサイトからアルミ

の新地金をつくる時に必要とするエネルギーのわずかに三%ですむという。

つまり九十七%エネルギーが節約されることを示している。このことはリサイクル推進の大きな励ましとなる。そして、アルミニウムの新地金を作るボーキサイトは、日本では産出しないため、全て海外からの輸入に頼っている。

アルミ缶のリサイクルに協力することは、原料の輸入量を減らし、エネルギー消費をおさえ、CO2削減、地球温暖化の防止にも役立ち、人と地球に優しいと確信します。

「本当の援助」ということについて



安田中高等学校
校長 水野 善親

呉市・江田島市に大田川から飲料水が安定して供給され、両市民はここ数十年断水が起こるなど考えてもいなかった。そのライフラインが壊れて水の供給がストップした時、市民は大混乱となった。あまりの規模の大きさに行政の対応も遅れ、島の教育機関は臨時休校になり、復活が待たれた。その時、間髪をいれずどの機関よりも早く、ペットボトル入りの水を江田島全域、呉市の一部に配布して回られたのは日赤広島支部の皆さんであった。これは中学校JRC部員が「美味しい水を断水した地域に」と提

案し、その提案を受けて即対応され、当時私が勤務していた呉三田高校に水を配布いただいた。

当時県JRC会長職にあった私は、私が提案すべきことをすべて日赤県支部の皆さんが肩代わりしていただいたように恐縮したことを記憶している。トラックからペットボトル二百本をおろしあつという間に帰って行かれた。

「無償の愛の実践」とはこういうことを言うのだと感じ入った。その水を断水で困っている家庭に届けるように生徒達に託した時、学校の中にいくらかでも市民の皆さんに役立てることがあるということを教えられた。

青少年赤十字加盟校一覧（広島県）

幼稚園・保育所（園）【52園（所）】

広島市

保育園ゆりかご・栄光幼稚園・広島光明学園・広島和光園保育所・フレザー幼稚園・うじな幼稚園・似島保育園・第二みみょう保育園・あさひ幼稚園・さくら保育所・中筋保育園・りじょう保育園・長束保育園・広島市山本幼稚園・上安保育園・沼田保育園・保育所まこと学園・大林保育園・高南保育園・広島市三田保育園・真亀保育園・亀山南保育園・安佐幼稚園・矢野中央保育園・河内保育園

呉市

呉第一保育園・焼山こぼと幼稚園・保育園・須川保育所・波多見保育所

三原市

八幡幼稚園

尾道市

尾道幼稚園

三次市

みゆき保育園

江田島市

飛渡瀬保育園・切串保育園・小用保育園・江田島保育園・宮ノ原保育園・江南保育園・柿浦保育園・大古保育園・中町保育園・鹿川保育園・高田保育園・三高保育園

安芸郡

府中ひかり保育園・第二府中ひかり保育園・初神保育園・保育所ひかり学園・坂保育所・小屋浦保育所

山県郡

上殿幼稚園

世羅郡

世羅幼稚園

小学校【179校】

広島市

白鳥・基町・幟町・袋町・竹屋・千田・吉島東・吉島・本川・江波・安田・東浄・中山・牛田新町・荒神町・大州・段原・比治山・仁保・宇品・似島・大芝・三篠・己斐・山田・古田・草津・鈴が峰・井口・井口台・古田台・八木・中筋・古市・毘沙門台・安東・安・安北・安西・山本・原南・戸山・梅林・伴東・伴南・東野・井原・志屋・高南・三田・深川・落合東・落合・口田・東・可部・鈴張・小河内・久地・筒瀬・久地南・

倉掛・瀬野・中野東・中野・矢野西・矢野・矢野南・石内・八幡・八幡東・五日市観音西・五日市観音・五月が丘・美鈴が丘・五日市中央・五日市・五日市東・五日市南・楽々園・藤の木・彩が丘・湯来東

呉市

小坪・長浜・大入・警固屋・坪内・宮原・莊山田・吉浦・天応・昭和東・昭和南・下蒲刈・音戸・高須・田原・早瀬・波多見・尾立・野路東
三原市
三原・木原・中之町・小坂・八幡・沼田東・小泉・北方・神田東・大草・和木・榎梨・広島大学付属三原

尾道市

南・瀬戸田

福山市

手城・赤坂・高島・鞆・曙・多治米・日吉台・川口東・竹尋・湯田・道上

府中市

上下南

三次市

青河・田幸・八幡・八幡小徳市分校

庄原市

東

大竹市

玖波・穂仁原・木野・栗谷

東広島市

寺西・西志和・造賀・板城西・乃美尾・中黒瀬

廿日市

廿日市・金剛寺・宮園・友和・津田・浅原・吉

和・大野東・大野西

安芸高田市

可愛・郷野・美土里

江田島市

切串・江田島・高田・中町・鹿川・三高・大古・柿浦・飛渡瀬

安芸郡

海田西・熊野第一・熊野第二・熊野第三・熊野第四・坂・横浜・小屋浦

山県郡

筒賀・上殿・雲月・川迫

世羅郡

大田・津久志

神石郡

来見

中学校【85校】**広島市**

国泰寺・吉島・江波・修道・牛田・二葉・戸坂・大州・翠町・楠那・字品・似島・似島学園・広島大学附属東雲・中広・観音・古田・己斐上・井口台・ノートルダム清心・祇園・祇園東・大塚・AICJ・城南・安佐・白木・日浦・高陽・瀬野川・阿戸・矢野・瀬野川東・船越・五日市・観音・美鈴が丘・五日市・五日市南・城山・湯来・砂谷

呉市

広島中央・横路・和庄・吉浦・郷原・昭和北・白岳・蒲刈・安浦

三原市

第三・第四・第五・幸崎・宮浦

福山市

誠之・福山・英数学館・福山暁の星女子

大竹市

小方・大竹・栗谷

廿日市

阿品台・四季が丘・吉和・大野・宮島

安芸高田市

吉田・八千代・甲田

江田島市

江田島・能美・三高・大柿

安芸郡

府中・海田西・海田・熊野・熊野東・坂

山県郡

筒賀・芸北・広島新庄

府中市**神石郡**

神石

神石**高等学校【52校】****広島市**

舟入・広島商業・修道・広島工業・広島井口・ノートルダム清心・山陽・祇園北・安西・安古

市・AICJ・白木・高陽東・安芸南・美鈴が丘

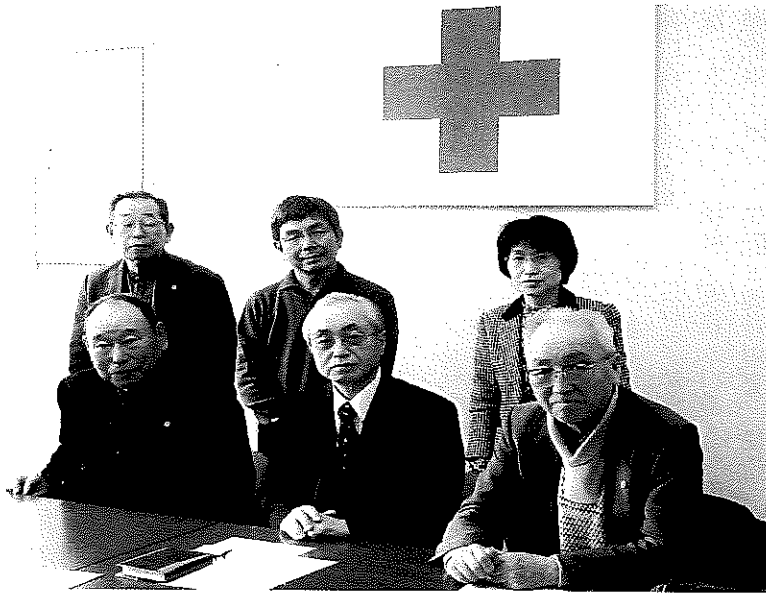
呉市

呉・呉工業・呉商業・広・呉三津田・呉昭和・音戸・清水ヶ丘・呉港

竹原市

忠海
尾道市
御調・因島
福山市
福山・福山誠之館・福山商業・英数学館・福山
暁の星女子
三次市
日影館
庄原市
庄原実業
東広島市
西条農業・黒瀬・河内・豊田
廿日市
廿日市・廿日市西・宮島工業
江田島市
江田島・大柿
安芸郡
安芸府中・海田・広島国際学院・熊野・広島翔
洋
山県郡
加計・加計高芸北分校・広島新庄
世羅郡
世羅
特別支援学校【6校】
広島市
市立広島・県立広島南・県立広島・県立広島北
三原市
県立三原
尾道市
県立尾道

【計374校】



編集後記

大変遅くなりましたが「賛助ひろしま」第十五号をお届けします。

例年編集会議は、十一月から十二月にかけて行われていましたが、今年度は委員の日程調整がうまくいかず、大幅にずれ込んで二月に入ってから開かれたため、会誌をお届けするのが年度末になってしまい、皆様に御心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。

会誌発行は遅れましたが、本会の活動は紙面にて報告していますように、例年以上の活動をして参りました。しかし、会計の方は年々減少傾向になり、次年度への繰越金も先細りの状況です。団員の皆様におかれましては、今後ともご支援賜りますよう、この紙面をお借りして宜しく宜しくお願い申し上げます。

編集委員

日高 敬司	塚本 晃史
野田 崇	大本 昭
河戸 靖子	射場利久男
采谷 宣子	

計報

上田 寿（七十九歳） 平成二十一年三月